

2022年3月期決算説明

2022年5月13日
いすゞ自動車株式会社

説明内容

1. 全体総括
2. 2022年3月期実績
3. 2023年3月期見通し
4. Q&Aセッション

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

1. 全体総括

全体総括①

1. '22年3月期実績

- 海外市場は、CV・LCV共に需要は堅調。
- 半導体不足により国内CV・タイLCVの販売は大きく影響受けるも、新興国向け出荷に振り替える運営により、マイナス影響を最小限にとどめた。
- 損益は、VOLMIXの改善、費用減及び為替好転により想定を上回った。

2. '23年3月期見通し

- 海外市場は、CV・LCV共に需要好調。国内CVを中心に半導体不足による生産制約あるも、バックオーダーの解消と合わせて、過去最高レベルの販売VOLを見込む。
- 資材費・物流費は上昇が止まらず、先期を上回る1,000億円超のコスト増を折り込む。
- 一方で、通期の損益見通しは、過去最高レベルの販売VOL、合理化推進及び更なる為替好転により、過去最高の売上高3兆円、営業利益2,000億円を目指す。

企画・財務部門統括代行の中俣でございます。
まずは全体を総括して説明いたします。

22年3月期の実績について、国内CVやタイLCVの販売が半導体不足の影響を大きく受けたものの、新興国向け出荷に振り替える運営により、マイナス影響を最小限にとどめました。損益は、VOL MIXの改善、費用減及び為替好転により、想定を上回りました。

23年3月期の見通しについて、海外市場は、CV・LCV共に好調が続いております。国内CVを中心に半導体不足による生産制約あるも、バックオーダーの解消と合わせて、過去最高レベルの販売VOLを見込みます。

資材費・物流費上昇によるマイナス影響はありますが、VOL増加、合理化推進及び為替好転により、過去最高の売上高3兆円、営業利益2,000億円を目指します。

全体総括②

3. サプライチェーン混乱による影響

	'22/3期実績	'23/3期見通し
日本	<ul style="list-style-type: none"> • 上期は東南アジア新型コロナ感染拡大により部品供給に支障、小型トラックに減産影響発生 • 下期は半導体不足により部品供給に大きなインパクト、主に先進国向けのトラックに減産影響発生 	<ul style="list-style-type: none"> • 半導体供給は、下期の正常化を見込む • 上海ロックダウンの影響により、大小トラック内装部品の供給に支障、ライン稼働停止による減産影響発生
タイ	<ul style="list-style-type: none"> • 上期より半導体供給に支障、新型LCVに減産影響発生 • 4Qに入り一部の部品で不透明続くも、全体では解消 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き一部の部品で供給が不透明な状況が続くも、高水準の生産計画を予定 • 上海ロックダウンによる部品供給に支障あるも、影響は限定的

サプライチェーンの混乱による影響について、説明いたします。

日本は主に国内や北米向けトラックに減産影響が発生していますが、23年3月期の下期からの正常化を見込んでいます。一方で、上海ロックダウンの影響により、16日から5日間にわたりライン稼働を停止する予定です。

タイでは、特定の部品を除き半導体不足はほぼ解消し、23年3月期も高水準の稼働を見込んでいます。上海ロックダウンによる生産への影響は限定的です。

全体総括 '22年3月期実績

ISUZU

グローバル販売台数(千台)		'22/3期	'21/3期	対前年比増減		'22/2公表の見通し '22/3期
CV計	国内CV	56	70	▲14	▲20%	53
	海外CV	269	190	+79	+41%	277
	UDトラックス	18	-	+18	-	18
CV計		343	260	+83	+32%	348
LCV計	タイLCV	173	151	+22	+15%	163
	輸出LCV	205	144	+61	+42%	212
LCV計		378	295	+83	+28%	375
合計		721	555	+166	+30%	723
決算実績(億円)						
売上高		25,143	19,082	+6,061	+32%	25,000
営業利益		1,872	957	+915	+96%	1,700
経常利益		2,084	1,043	+1,041	+100%	1,750
当期利益		1,262	427	+835	+196%	1,100
1株当たり配当		66円	30円	+36円		58円

5

Copyright(C) 2022 Isuzu Motors Limited All rights reserved

22年3月期実績の全体総括です。

グローバル販売台数は、半導体不足による生産制約を受け、国内CVは先期を下回りましたが、海外CV及びLCVは先期を上回る結果となりました。

損益につきましては、記載の通りです。

期末配当は、当期利益が見通しを上回ったため、従来予想額の29円から8円増となる、1株当たり37円といたします。中間配当を加えた年間配当額は、1株当たり66円となります。

全体総括 '23年3月期見通し

グローバル販売台数(千台)		'23/3期	'22/3期	対前年比増減	
CV計	国内CV	70	65	+5	+8%
	海外CV	294	278	+16	+6%
	CV計	364	343	+21	+6%
LCV計	タイLCV	217	173	+44	+26%
	輸出LCV	221	205	+16	+7%
	LCV計	438	378	+60	+16%
合計		802	721	+81	+11%

決算見通し(億円)		'23/3期	'22/3期	対前年比増減	
売上高		30,000	25,143	+4,857	+19%
営業利益		2,000	1,872	+128	+7%
経常利益		2,100	2,084	+16	+1%
当期利益		1,270	1,262	+8	+1%
1株当たり配当		66円	66円	±0円	

23年3月期の販売台数と損益の見通しです。

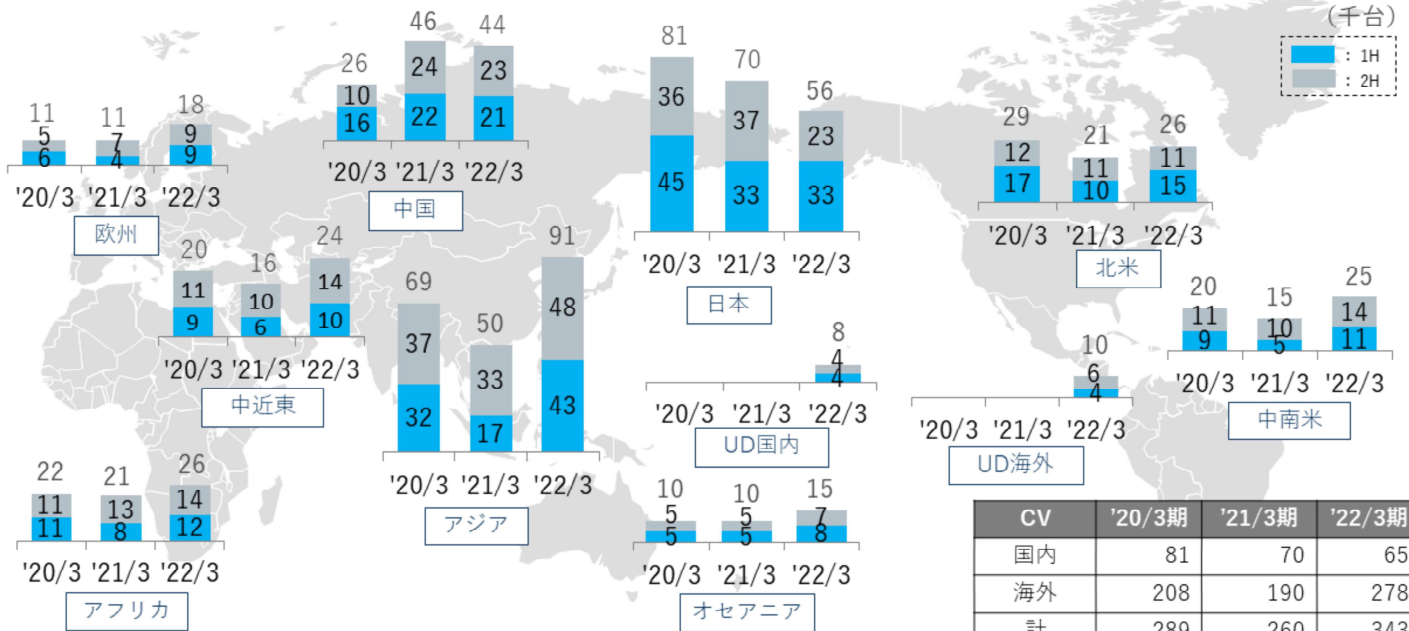
販売台数はすべてのセグメントで先期を上回り、過去最高を見込みます。

損益につきましては、記載の通りです。資材費、物流費の上昇はあるものの、増収効果や価格対応、原価低減活動を推進いたします。配当は22年3月期と同額となる年間66円を予定します。

2. 2022年3月期実績

'22/3期 CVグローバル販売台数実績

- 国内市場は、半導体不足による生産制約を受け、前年割れ
- 海外市場は、新興国向けに出荷を振り替える運営も寄与し、多くの地域でコロナ前の'20/3期の販売台数を上回る



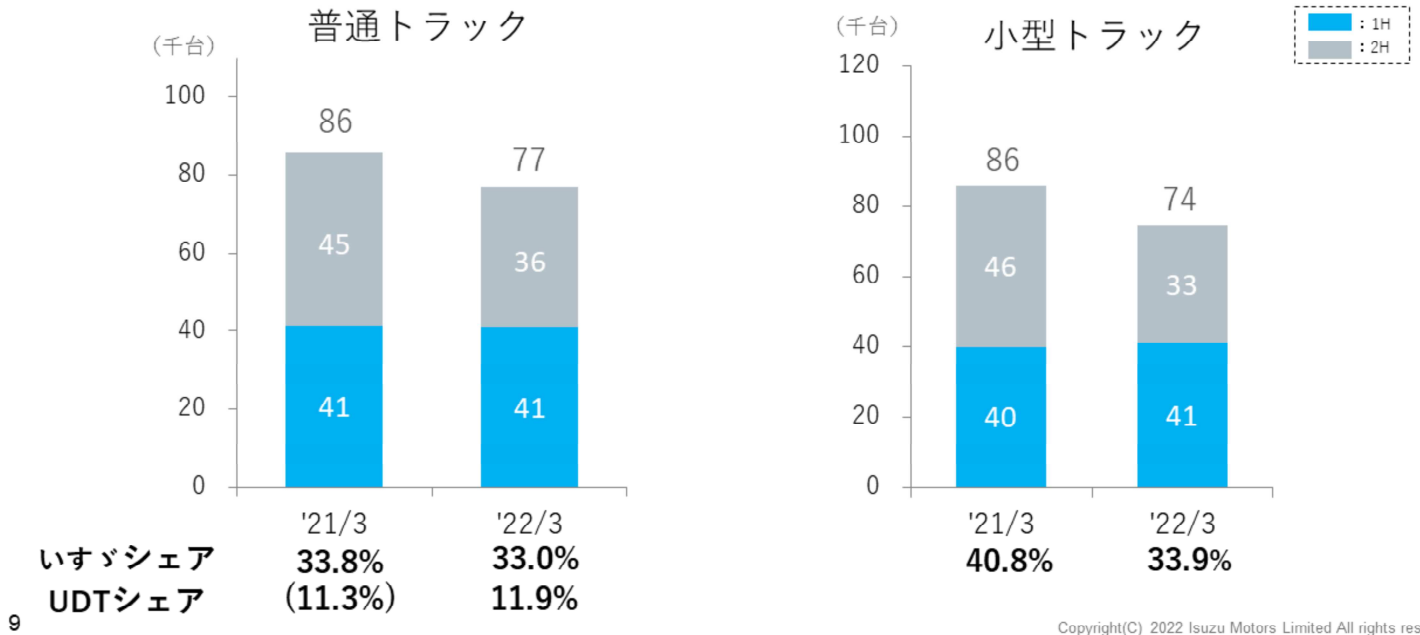
CV	'20/3期	'21/3期	'22/3期
国内	81	70	65
海外	208	190	278
計	289	260	343

8 *国内CV：国内卸売・直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷
 *UDは4月～12月の損益・販売台数を連結P/Lに反映

続いて22年3月期のCVグローバル販売実績について説明いたします。
 海外の販売台数は、多くの地域でコロナ前の20年3月期を上回りました。

'22/3 国内全需・シェア実績 -普通トラック/小型トラック-

- 全需は、普通トラ・小トラ共に需要は堅調も、生産制約により前年割れ
- 小トラは特に影響が大きく、シェアを落とした

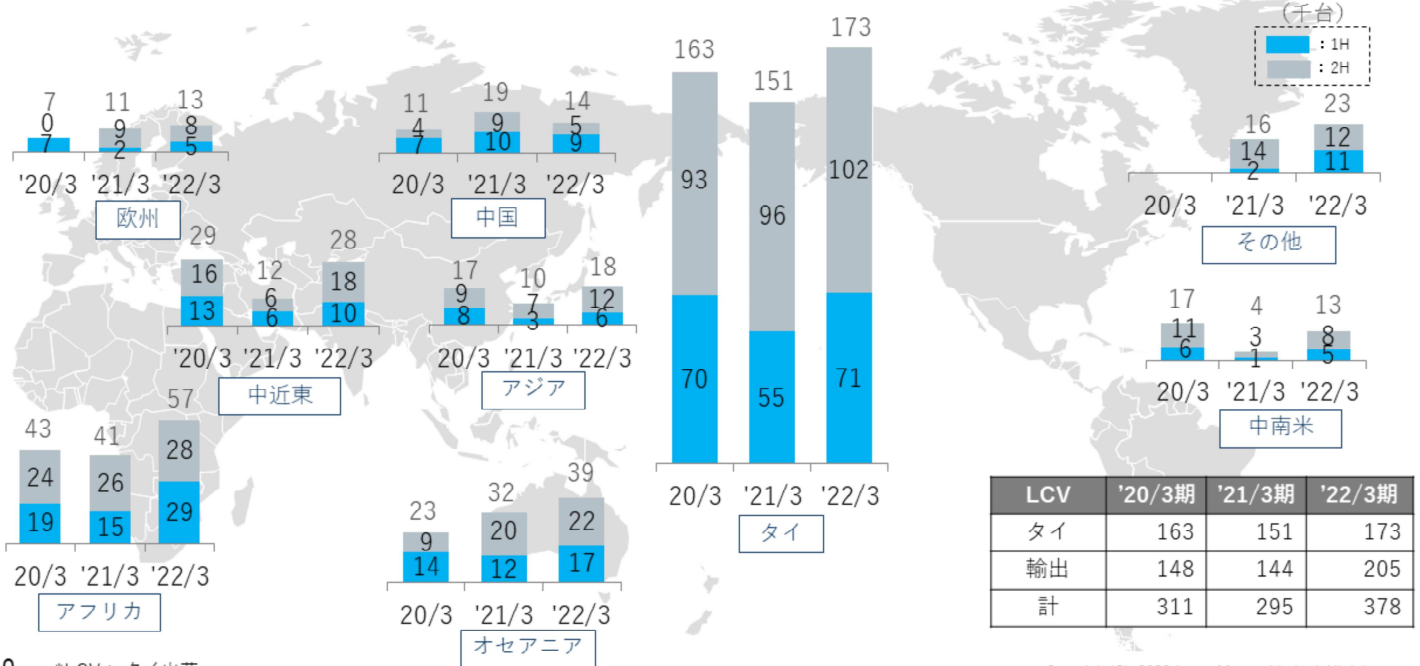


国内全需とシェア実績です。

全需は普通トラック・小型トラックともに生産制約の影響を受け、先期を下回りました。シェアは、特に小型トラックで大きく落としました。

'22/3期 LCVグローバル販売台数実績

■ 上期は半導体不足の影響を受けるも、下期は概ね解消に向かい、多くの地域でコロナ前の'20/3期を上回る販売台数を記録

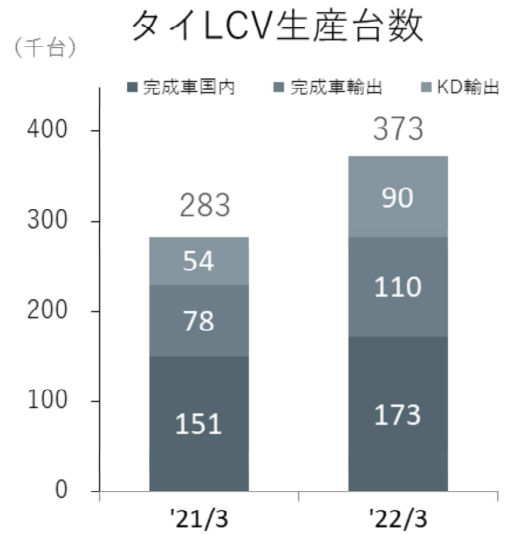
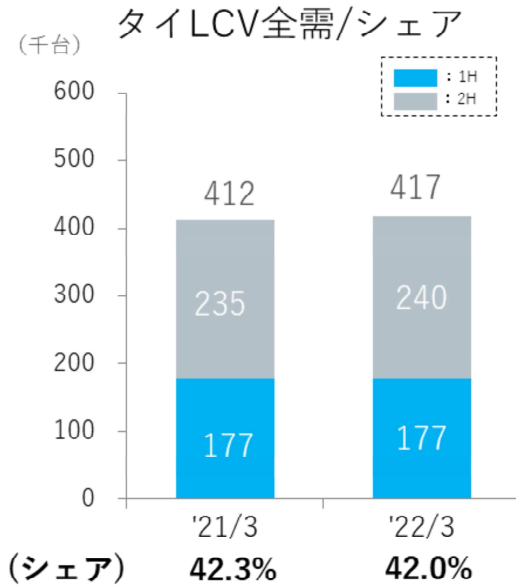


LCVグローバル販売台数です。

新型LCVの生産について、上期に半導体不足の影響を受けたものの、下期は概ね解消に向かい、多くの地域でコロナ前の20年3月期の販売台数を上回りました。

'22/3期 タイLCV全需・シェア/LCV生産台数実績

- 需要は堅調も、生産制約の影響大きく、全需は前年並みにとどまる
- 半導体供給が解消に向かい、すべてのカテゴリで生産台数が増加



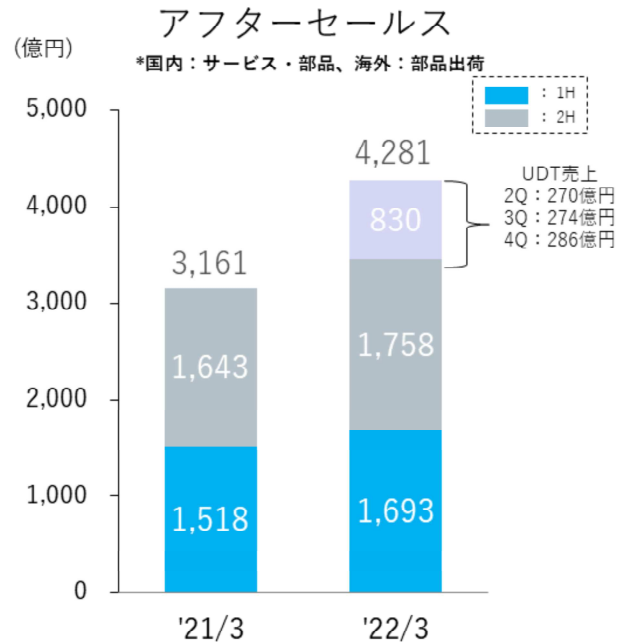
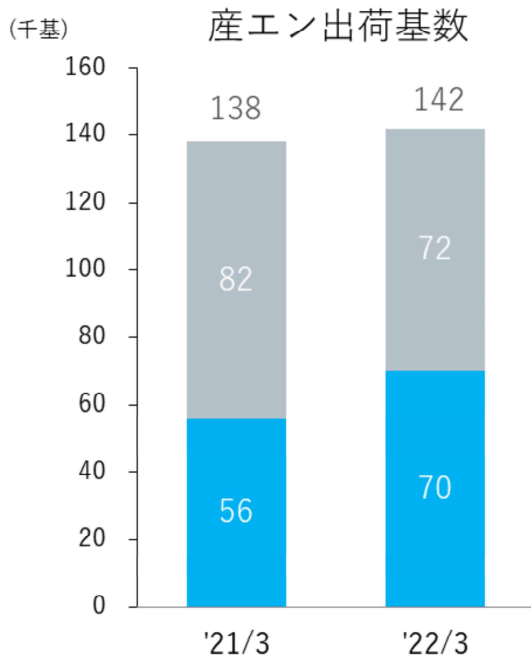
タイLCV全需・シェア、及びLCV生産台数実績です。

全需は生産制約の影響により先期並みにとどまりました。シェアは引き続き、40%台を維持しております。

LCV生産台数は、半導体不足の問題が下期に解消に向かい、大きく増加しました。

'22/3期 産業用エンジン出荷/アフターセールス売上

- 産エン：中国建機需要の減速、及び現地の規制切替に備えた在庫調整もあり、下期の出荷基数は前年を下回る
- アフターセールス：UDトラックスの売上の取り込みに加え、海外部品の増収により前年を上回る



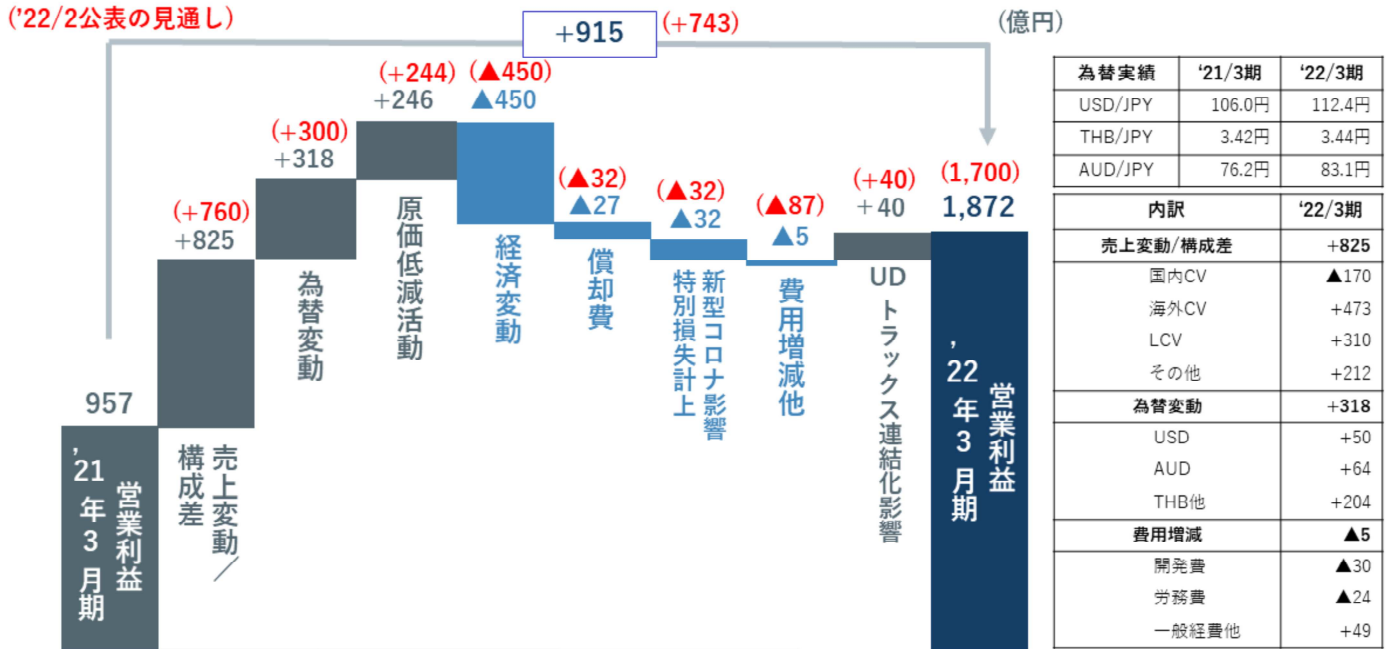
産業用エンジン、アフターセールスです。

産業用エンジン出荷基数は先期より増加しましたが、中国建機需要の減速および排ガス規制変更を控えた在庫調整により、下期だけを見ると先期を下回りました。

アフターセールスのいすゞの売上は、主に海外向け部品売上の増加により先期を上回りました。UDトラックスは、4月から12月の売上を取り込んでおります。

'22年3月期営業利益実績 増減分析 -前年同期比-

■ 海外市場のVOL回復、原価低減活動の推進及び為替好転で、資材費・物流費の高騰を吸収し、大幅に増益。



続いて、22年3月期の営業利益の増減分析です。

主な増益要因は、売上変動/構成差、為替変動、原価低減活動、主な減益要因は資材費・物流費の高騰を受けた経済変動となりました。

2月に公表した見通しとの比較を赤字の括弧内に示しております。売上変動/構成差が+65億円上回った他、費用が82億円減少したこともあり、営業利益は172億円見通しを上回りました。

'22年3月期決算実績 - 前年同期比 -

(億円)	'22/3期	'21/3期	対前年比増減	
売上高	25,143	19,082	+6,061	+32%
営業利益	1,872	957	+915	+96%
経常利益	2,084	1,043	+1,041	+100%
当期利益*	1,262	427	+835	+196%

営業利益	1,872	経常利益	2,084
持分法による投資損益	+96	投資有価証券評価損、固定資産売却損等	▲41
為替差損益	+58	法人税等	▲476
その他	+58	非支配株主に帰属する当期純利益	▲305
経常利益	2,084	当期利益*	1,262

*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の説明です。

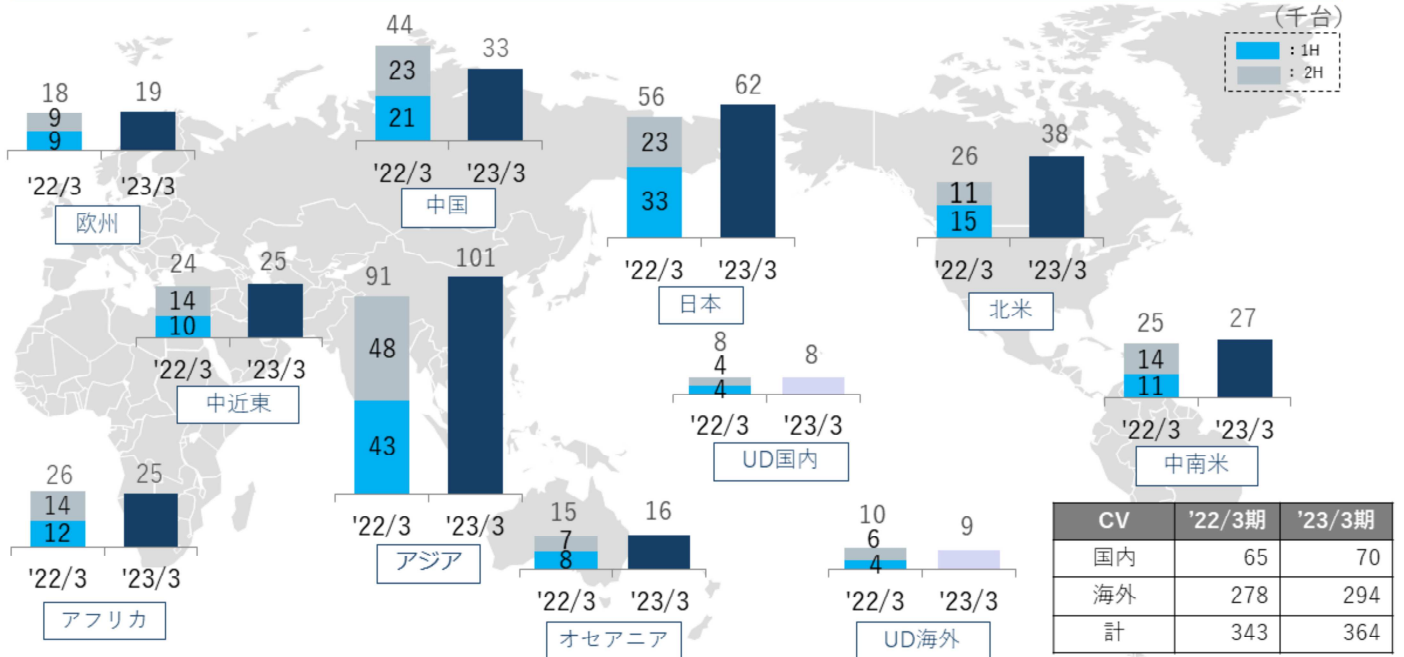
経常利益については、年度末の急激な円安によって為替差益が大きく計上されました。

また、北米におけるGMとのディーゼルエンジンに関する合弁事業の解消にともない、投資有価証券評価損として47億円を特別損失として計上しております。

3. 2023年3月期見通し

'23/3期 CVグローバル販売台数見通し

■ 減産影響あるも、旺盛な需要を取り込み、過去最高の販売台数を見込む



16 *国内CV：国内卸売・直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

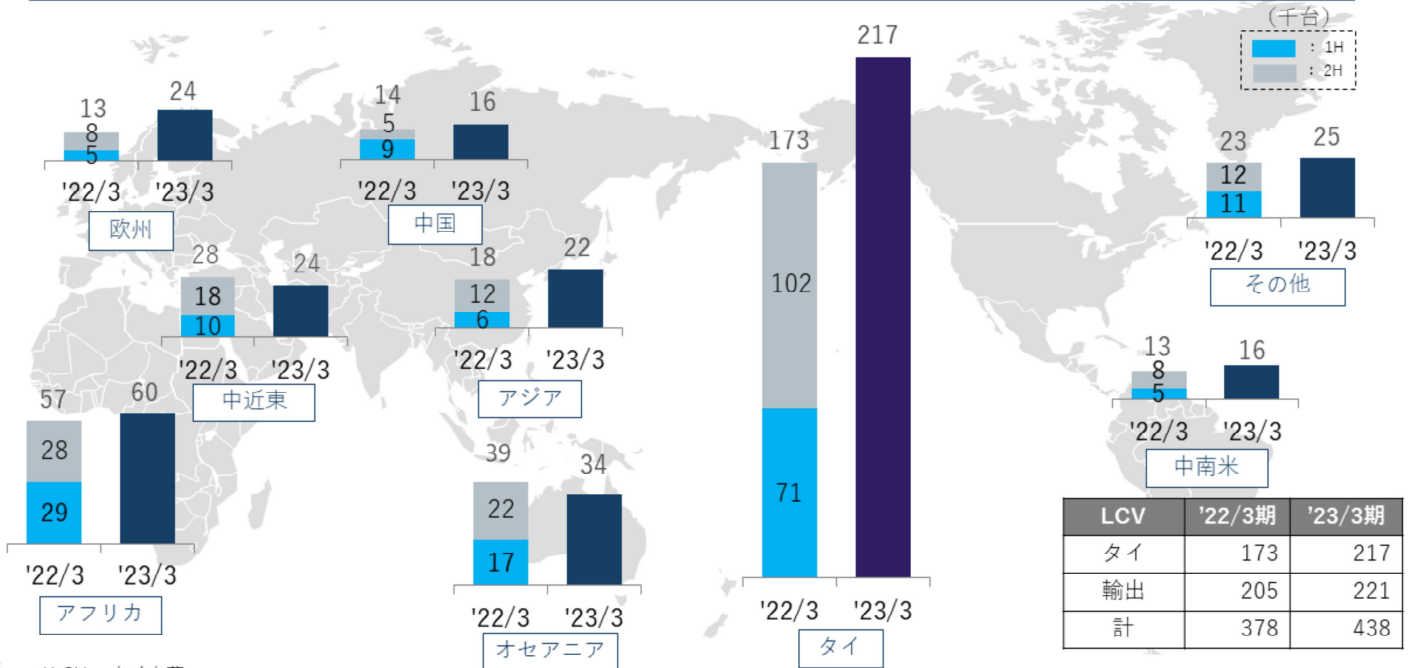
続けまして、23年3月期見通しを説明いたします。

CVグローバル販売は、国内・海外ともに市場の需要は引き続き堅調です。生産制約は残りますが、バックオーダーの解消も合わせて、過去最高の販売台数を見込みます。

なお、国内全需見通しは、普通トラック・小型トラックともに未定とさせていただきます。

'23/3期 LCVグローバル販売台数見通し

■ 半導体不足による減産影響が解消されたことに加えて、旺盛な需要もあり、先期を上回る販売台数を計画



17 *LCV：タイ出荷

Copyright(C) 2022 Isuzu Motors Limited All rights reserved

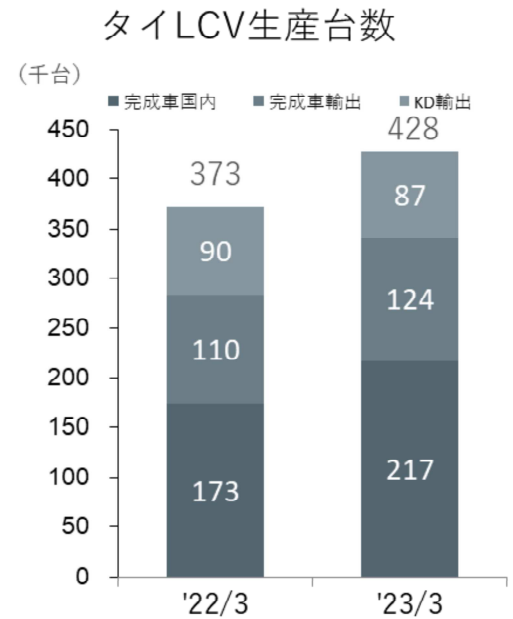
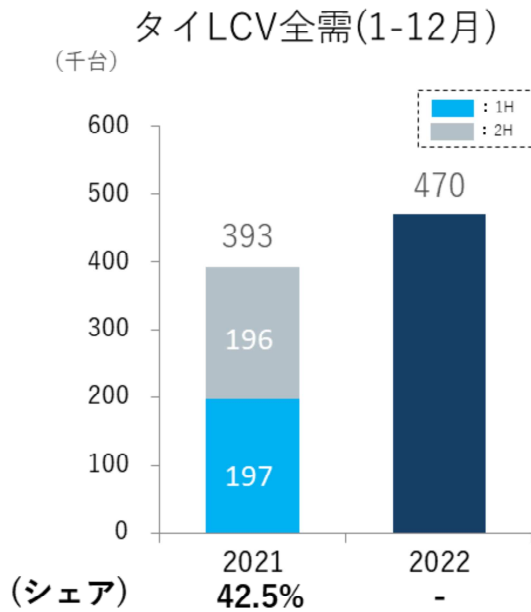
LCVグローバル販売台数です。

半導体不足が解消に向かっていることに加え、各市場で堅調な需要が続いていることから、多くの地域で先期を上回る販売台数を計画します。

なお豪州については、需要は引き続き好調ですが、一部半導体不足の影響により台数減を見込んでおります。

'23/3期 タイLCV全需・シェア/LCV生産台数見通し

- 全需は、コロナ前のCY2019水準には至らないものの、生産制約の解消と共に回復が進む
- 生産制約の解消に加えて、足元の堅調な需要により、過去最高の生産台数を計画



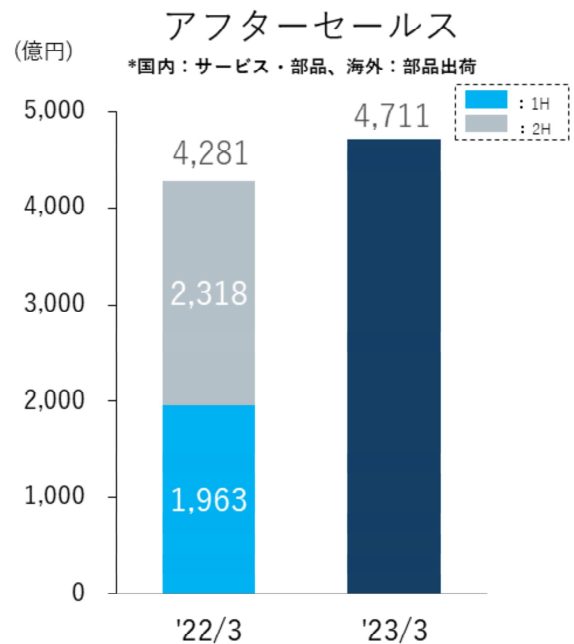
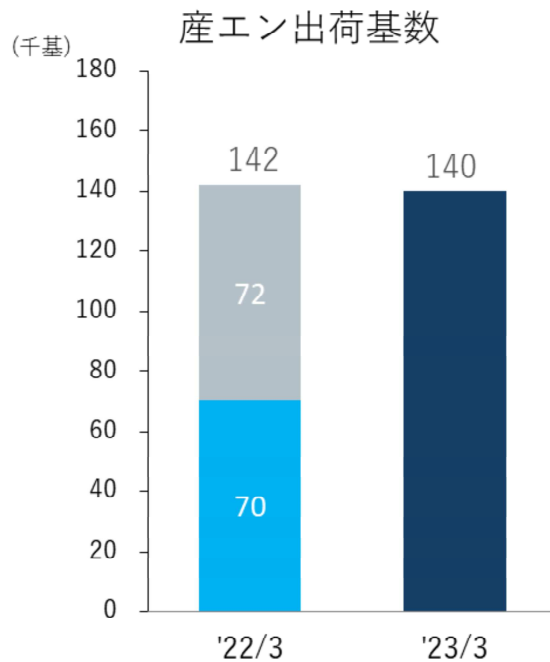
タイLCV全需及びLCV生産台数見通しです。

2022年のタイLCV全需は、コロナ前である2019年の49万2千台には届かないものの、生産制約の解消とともに回復すると見えています。

LCVの生産台数は、過去最高を見込みます。

'23/3期 産業用エンジン出荷/アフターセールス見通し

- 産エン：中国での新規制に対応した在庫積み増しの影響もあり、先期並みを維持
- アフターセールス：UDトラックスの収益が1年分反映されることに加え、海外部品を中心に増収を見込む



19

Copyright(C) 2022 Isuzu Motors Limited All rights reserved

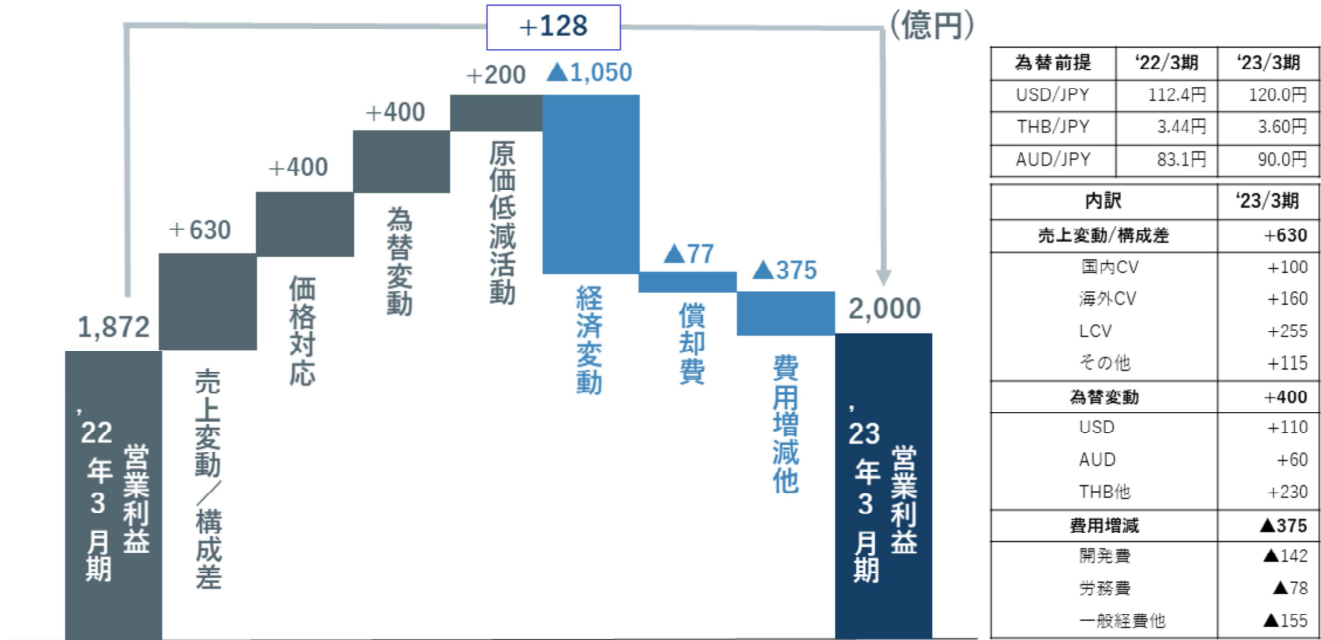
産業用エンジン、アフターセールスです。

産業用エンジン出荷基数は、中国建機需要に減速が見られるものの、建機メーカーが中国の新規制に対応したエンジンの在庫を積み増す影響により、先期並みを見込みます。

アフターセールス売上は、UDトラックスの収益が1年分反映されることに加え、海外部品を中心に増収を見込みます。

'23年3月期営業利益見通し 増減分析 -前年同期比-

■ 経済変動は1,000億円超の影響あるも、過去最高レベルのVOL、価格対応、原価低減活動及び更なる為替好転により過去最高益を目指す



続いて、23年3月期営業利益見通しの増減分析です。

経済変動により1,000億円を超えるマイナス影響があるものの、過去最高レベルのVOL、価格対応、原価低減活動及び更なる為替好転により、2,000億円を狙います。

'23年3月期決算見通し - 前年同期比 -

(億円)	'23/3期	'22/3期	対前年比増減	
売上高	30,000	25,143	+ 4,857	+19%
営業利益	2,000	1,872	+ 128	+7%
経常利益	2,100	2,084	+ 16	+1%
当期利益*	1,270	1,262	+ 8	+1%

営業利益	2,000	経常利益	2,100
持分法損益	+80	投資有価証券売却益、固定資産売却損等	+30
為替差損益	±0	法人税等	▲530
その他	+20	非支配株主に帰属する当期純利益	▲330
経常利益	2,100	当期利益*	1,270

*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の増減は、記載の通りでございます。

私からの説明は以上でございます。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

【付表】主要事業指標推移等

